

行事に参加するための支援

[児童の姿]

はじめてのことや、行事になかなか参加できない。



[具体的支援]

・スケジュールを書いたり、ビデオなどで当日することを伝えたり、お客さんが見に来ることも伝えておく。



[具体的な状況]

・活動も理解して、お客さんが見にくくこともわかってはいたが、1回目の予行では見られていないことと、視線を感じることが嫌で参加できなかった。

POINT

POINT
行事では、当日に向けてのシミュレーションが非常に大切です。まず、一人一人の状況に応じて具体的に当日することを知らせていきます。しかし、することがわかっ
ていても参加できない、ということもある
ので、その理由が何であるかを考えて対処することが必要です。



[その後の具体的支援]

・舞台の木の陰に隠れて視線を避けられる場所を作り、不安になったらその場所に入れるようにする。



[その後の具体的な状況]

・発表会当日は、木の陰に隠れ会場の様子を見ながら、自分で出られるところは出ることで参加することができた。視線を避けられる場所を設ける事で、不安が和らぎ参加できた。

[児童の姿]

言葉で伝えるだけでは、運動会の取り組みの流れが理解しにくい。



[具体的支援]

・ミニスケジュール帳を作り、具体的に当日の流れや動きを伝え、確認する。



[具体的な状況]

・ミニスケジュール帳に、書かれていない事が起きて泣いてしまう。



[その後の具体的支援]

・困ったことが起きた時には、この保育士に言うように、名前という場所を伝えておく。



[その後の具体的な状況]

・予想外のことが起きて「だいたいようぶ」と対処法を知らせておくことで、安心してとりくむことができた。

個別指導計画

項目	児童の姿	ねらい	具体的な援助・具体的な手立て	具体的な状況	評価・今後の課題
<p>コミュニケーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行事の時には、みんなと一緒に参加できるようになってきた。 リレーや鬼ごっこやドッジボールなどのゲームの途中で転んだり、予想外のことがあると、落ち込んで参加できなくなることがあるが、気持ちを立て直すことができる時もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事の時に予想外のことが起きるなど、困ったことがあった時には保育士に言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 転ぶ・ぶつかると、間違う・バトンを落とす、など予想されるトラブルについてあらかじめ話をしておく。『何かあっても最後まで泣かずに参加』することをクラスルールとして話をしていく。 スケジュール帳であらかじめ活動の内容を話し、疑問点を聞いたり、保育士の位置を具体的に知らせたりすることで、困ったことがあったらどうしたらいいかを伝える。スケジュール帳にない事が起きて、保育士に伝えたらよいことを話す。 頑張ったことは十分に褒める。 	<ul style="list-style-type: none"> 予行練習では、転んだり竹馬のテープがはずれたりして泣いて落ち込んでしまったが、何かあったらどうしたらいいか具体的に話をしていく事で当日は安心して参加することができた。 日常の色々な場面で、わからないことは「せんせい、どうしたらいい？」と聞く姿が少しずつ見られるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事の時には、保育士の位置をあらかじめ伝える事で不安を取りのぞき、落ちることができた。 日常の場面でも、困ったことや嫌なことがあった時には、保育士に伝えに行けるようにしていく。
<p>この内容の支援をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">保護者氏名</p>					

